

障がい理解研修(事例検討)

精神障がいのある本人と家族への関わりを考える

—事例から学ぶ 支援の組み立て方—

講師

富樫剛清 長谷川病院在宅診療部

講師より：精神科アウトリーチをやっています。皆様と顔の見える連携をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

2026年 8月24日(月)

14:30~16:30 会場：福祉Laboどんぐり山

三鷹市役所から送迎バスあり(要予約)



研修のポイント

- ① 関わりにくさをどう捉えるか
行動の背景にある意味を考える視点
- ② 関係づくりのヒント
距離の取り方・関わり方の工夫
- ③ 本人・家族それぞれへの関わり方
異なる立場への対応の整理
- ④ 一人で抱えないための連携の視点
支援をつなぐための考え方

こんなお悩みはありませんか？

- ✓ 関わり方が分からず、距離の取り方に迷う
- ✓ サービスにつながらない、続かない
- ✓ ご家族への対応に困っている
- ✓ どこまで踏み込んでよいか悩む

現場で悩むケースを
事例をもとに一緒に考えます

対 象



ケアマネジャー、介護職
ほか支援に関わる専門職

定員：20名

内 容

- ・事例検討（本人ケース／家族ケース）
- ・グループワーク
- ・講師による解説

申込み
問い合わせ

三鷹市福祉Laboどんぐり山
三鷹市介護人財育成センター

☎ 0422-24-7350 ×切 8/20(木)

✉ info-fukushilabo@mitaka.or.jp

